

採用担当者等による卒業生評価アンケート 5社回答 (2023年度実施分)

※ここ数年に採用いただいた短期大学部卒業生の全般的な傾向での回答



[本学短期大学部学生への能力養成（教育）についての主な意見・要望]

- 貴校ではなく、全体の傾向として、自主性やリーダーシップ等が控えめになってきていると感じる部分がある。
- コミュニケーション能力、周囲との関係構築が上手にできる方と上手いかない方で仕事が上手くいく方とそうでない方で分かれている印象です。会社としても社会人スキルの勉強・教育をしていますが、その部分が活躍していく上で一番必要なスキルかと考えております。
- 自主的に考えて行動していただける方、どうしても受け身がちの方が多く傾向があるなかでは、実習等を通してリーダーシップを取れる方を要望いたします。
- 卒業生からは大量調理実習が当社で役に立っているとよく聞いている。実習に積極的に参加していただくよう教育を実施していただければ幸いです。

[企業訪問や学内面談から聴取した意見・要望]

- 明るく元気で壁を感じさせないようなコミュニケーションがとれる学生を育ててほしい。
- 誰とでも積極的に交わっていけるような、高いコミュニケーション能力がある方。意欲があり、先輩社員から教わることを素直に受け止められる方を望む。
- 人前で話すことに慣れていない学生が多い。自主的に発言することは社会に出てからも役に立つはず。
- 何事にも臆することなくチャレンジできる方。
- こつこつと真面目に取り組む力がつくよう教育してほしい。
- 挨拶がしっかりできる人、できないことはできないと言える人、主体性がある人。
- 社是に「誠実さ」を掲げており、真面目・素直・わからないことはわからないとはっきり言える人。年配のパート従業員と上手くやっていけることがポイント。新人の頃は指示を受け、テキパキと行動できることが大切。
- 栄養士に求められることは、コミュニケーションがスムーズにできる人、調理ができる人、やる気、意欲のある人が望ましい。
- 栄養士として知識・技術以外にコミュニケーション能力や順応性、物事を真摯に受け止めることのできる姿勢が必要。
- 食の知識を身につけてきてほしいのはもちろんだが、調理作業能力（手が速く動き、時間内に作業できるか）、調理室での人とのコミュニケーション、子どもの目線に下がって共感する力が必要。調理室の中で働く時間が長いとストレスがたまりやすい。それに耐えうる人物であること。3色食品群については少なくとも知識を完璧してきてほしい。新たなおやつメニューや食物アレルギーに対応したおやつ提案などができる能力があると良い。考えを聞かれた時に自分の意見がきちんとと言えることや、提案ができること。
- 仕事は調理が中心なので調理ができること、料理が好きで、美味しいものを作りたいと思っている人物。調理や食育について、工夫できる（より良くしようとする意欲がある）こと。Z世代は自己評価が低い人が多いことが気になっている。社会では色々な人と関わるので、自分を責め過ぎたり、逆に自分の意見を押し過ぎたりすることのない、社会性を身に付けていて、みんなと仲良くできる人物を求め。自主献立で給食を実施しているため、献立作成能力も必要。遺伝子組み換えや輸入食品の残留農薬、食品添加物等の食の安全性にも興味を持ってほしい。
- 保護者に話をする機会もあるため、保護者とのコミュニケーションがとれる力も必要。食育で子どもたちの前で話してもらおう機会もあるので、わかりやすく話せるスキルも求む。